

上肢リハビリ支援ロボット

名誉教授 蜂須賀研二、元リハビリテーション医学 和田 太 他

利用分野

脳梗塞等の患者の手関節および前腕の訓練のために、従来機器よりも効果的なリハビリ訓練を提供する運動訓練装置である。

シーズ

手関節の運動機能回復を目指す訓練ロボットであり、サーボモーターを用いた柔らかい動きが特徴である。患者の自発的な手関節運動をトリガーとして、手関節の運動を支援するため、患者の訓練意欲を高め、随意性の回復に優れている。また、麻痺側の障害の程度が重い場合には、健側の手関節運動をトリガーとして、鏡像運動を利用した麻痺側上肢訓練の支援をすることも可能である。



ニーズ

上肢訓練ロボットはMIT-MANUS、ReoGoなど、多くの報告があるが、上肢遠位部を対象に訓練する装置は少なく、患者の自発的な手関節の運動をトリガーとして動きを補助し、患者のリハビリに対する意欲と随意性を高めながら、訓練支援をするリハビリ機器はない。

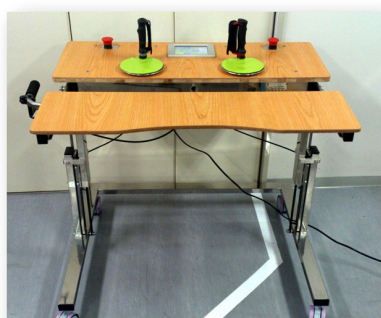
連携分野

多施設無作為臨床試験により、試作品の有効性を検討した。リハビリ機器へ参入を希望する企業に技術移転して製品化を図りたい（米国出願済み）。



知財保護

特許第6218146号、US9,937,095



“やる気”がリハビリによる運動機能回復を高める



本学マスコットキャラクター
ラマティー



産業医科大学 産学連携・知的財産本部
〒807-8555
福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘1番1号

問い合わせ先: 研究支援課
TEL: 093 (280) 0532
FAX: 093 (691) 7518
E-mail: chizai@mbx.pub.uoeh-u.ac.jp